



人権教育旬間 校長講話

10/26(月)～11/6(金)まで人権教育旬間でした。子どもたちは「なかよし旬間」として、児童会や各学年・学級で様々な学習をしました。以下に校長講話の一節を紹介します。



今日は、感染症から患者さんを救うためにがんばった佐久病院のお医者さんのお話をします。佐久病院ができたのは、みなさんのおじいちゃんやおばあちゃんが生まれたところで今から76年ほど前です。はじめは、小さな病院でお医者さんが1人、看護師さんが3人だけだったそうです。この小さな病院に東京から若月俊一先生という外科のお医者さんがやってきました。若月先生のおかげで、佐久病院で手術が行えるようにしました。たくさんの患者さんを病気から救うことができました。若月先生はその後、佐久病院の院長になりました。(中略)

ある晩のこと、こんなことがあったそうです。感染症で入院していた小学生の男の子の喉がはれて息ができなくて苦しくなってしまいました。看護師さんから知らせを受けて、若月先生はこの男の子をすぐに佐久病院につれてきて気管切開という呼吸が楽になる手術をしました。男の子は、呼吸ができるようになって命が助かりました。しかし、次の日、「どうして感染症の患者を病院につれてきたんだ。他の患者さんに病気が移ったらどうするだ」と電話がかかってきたそうです。でも、若月先生は、「私は医者として正しいと思ったからやっただけです。あの子は昨日気管切開をしなければ、亡くなっていたかもしれません。他の患者さんにはうつらないように個室に入ってもらい気をつけて治療をしました」と伝えたそうです。若月先生は悩みました。離れた病棟にいる患者さんには、治療ができない。今のままでは病気を治すことができない。そこで、若月先生は当時の岡田町の町長さんに頼んで町からお金を出してもらい佐久病院に感染症の患者さん専用の病棟を作ってもらうことにしました。若月先生は、町の人々に新しく作る病棟について正しく理解してもらうために地域の人を岡田小学校の講堂に集めて説明をしました。「佐久病院に完全な病棟ができれば、安心して入院治療ができるようになります」と言って街のみなさんに感染症の治療について正しく理解してもらいように説明をし、今から70年前に佐久病院に感染症専用の病棟ができました。(校庭の近くです)その後、患者さんの治療のためにたくさんの病棟が作られ、佐久病院は多くの人々が利用するようになりました。商店街も病院を利用する方々で賑わいました。この当時では長野県でももっとも大きな病院のひとつとなりました。

若月先生は、14年前に96歳で亡くなりました。今は新型コロナウイルスの感染症予防や治療のために病院などの医療現場のみなさんは一生懸命にがんばってくれています。新型コロナウイルスにかかってしまうことで家族やまわりで関係をしているみなさんが偏見による差別を受けたりして悲しい思いをすることも少なくありません。私たちは周りのみんながそう言っているからといって偏った考え方や見方や間違った情報を信じてしまうことがあります。若月先生はいつも「人を大事にしてください」と言っておられました。それは、みなさんの周りにいる友達であり、いっしょに暮らしている家族のことです。若月先生は患者さんや地域の人々のことを大事にしてくれました。(後略)

【参考文献：村で病気とたたかう 若月俊一氏著 佐久病院40年のあゆみ 他】

1・2年生 秋の遠足

10月1日(木)には、1, 2年生が新海三社神社へ遠足に行ってきました。

2年生が1年生の手をとって、話をしたり、時には「がんばって」と励ましたりしながら歩く遠足は、本校の素敵な行事の一つです。昨年の遠足では手を引かれていた2年生が今年はお兄さん、お姉さんとして、立派に1年生を支えていて、成長を感じました。来年はきっと今の1年生が今年はお兄さん、お姉さんとして活躍してくれることと思います。



社会見学 3年生 4年生

10月9日(金)には、3年生、4年生がそれぞれ社会見学に行ってきました。4年生の社会見学は「県内めぐり」です。諏訪湖周クリーンセンター、松本城、県立歴史館をまわりました。3年生の社会見学は「市内めぐり」です。パラダ昆虫館、子ども未来館に行ってきました。コロナ禍ですので例年通りにはいかずに、日程や見学場所を変更して実施でしたが、実際に見て聞いて体験する社会見学は、子どもたちにとって貴重な学びとなりました。



4年生 松本城



3年生 子ども未来館

稲刈り 5年生

10月19日(月)には、5年生の稲刈りがありました。肌寒い天候でしたが、稲作を指導していただいている伊藤さんに教えていただきながら、稲刈りにチャレンジしました。最初は鎌の扱いに苦戦していた子どもたちも、慣れてくるとザクザクと小気味よい音を立てながら稲を刈っていました。稲穂を大切に扱う子どもたちの姿から、貴重な学びをしていると改めて感じました。



編集後記

秋も深まり、朝夕の寒さが身にしみます。寒さに負けず、元氣よくみんなが登校できる臼田小を目指しています。

来週13日(金)は、参観日及び人権・同和教育講演会が予定されています。今年度は感染症予防対策を優先し、講演会の参加は、5~6年児童及びその保護者の皆様に限って実施しますが、学級懇談会まで時間が開いてしまいますので、保護者席をできるだけ確保しておきたいと考えています。席に余裕がありましたら、学級懇談会までお待ちいただいている皆様もご参加ください。ご来校をお待ちしております。

〔教頭 依田〕